

防災 ESG 勉強会において防災投資の現状と課題に係る講演を行いました (2022/7/14)

テーマ：防災投資、サステナブルファイナンス

会場：オンライン

URL：<https://cityscalekobe.jp/>

<https://sendaicommitments.undrr.org/highlights/105%23highlight-views-top-area>

<https://www.springer.com/book/9789811929236>

2022年7月14日（木）、神戸大学が中心となって設立した「都市丸ごとのシミュレーション技術研究組合」が主催する第6回防災 ESG 勉強会（オンライン）において、当研究所の佐々木大輔准教授（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）が「防災投資の現状と課題」と題して講演を行いました。講演で佐々木准教授は、当研究所の2020～2021年度共同研究助成採択課題「治水投資額と被害軽減効果の将来予測における新展開」に係る研究成果を基に、減災・防災、気候変動適応に向けた投資の重要性について指摘しました。勉強会には30名弱の参加があり、講演の後に活発な質疑応答がなされました。

防災投資・サステナブルファイナンスについては、近年大きな注目を集めており、2022年5月にはインドネシア・バリ島で開催された「Global Platform for Disaster Risk Reduction 2022」（国連防災機関（UNDRR）と開催国政府が主催し、2年に1度開催される全世界を対象にした国際会議）においても、佐々木准教授が同様の発表を行っています。また、佐々木准教授がエディター・著者として携わり、防災投資に係るこれまでの研究成果について取りまとめた学術図書（Financing Investment in Disaster Risk Reduction and Climate Change Adaptation - Asian Perspectives）が、2022年9月にSpringer Nature社から公刊予定となっています。

今後も引き続き、防災投資・サステナブルファイナンスに係る文理融合の学際研究を積極的に推進していきます。



オンライン勉強会の様子